

# 清水公園駅前線カルバート長寿命化修繕計画

令和6年3月

野田市 建設局土木部道路建設課

## 1. 清水公園駅前線カルバートの現状

野田市で管理している大型カルバートは 1 施設のみであり、対象となる清水公園駅前線カルバートは、平成 18 年（2006 年）に建設されてから、18 年が経過しています。直近では令和 2 年に定期点検を実施しており、健全性が I であることが確認されております。次回は令和 7 年に定期点検を実施する予定です。

今後、高齢化した大型カルバートを維持管理していくためには以下のように努めていく必要があります。

## 2. 修繕計画策定の基本的な方針

今までのように、「悪くなってから対策をする」という対症療法型の維持管理を続けた場合、修繕に要する費用が増大することが懸念されますので、定期的に点検を実施して、「予防的な修繕を行う」予防保全型の維持管理を行います。予防保全型の維持管理を行うことで、大型カルバートの将来的な安全性・信頼性、コスト縮減に継続的に努めます。

また、大型カルバートの老朽化対策を適切に行うために、コスト縮減や事業の効率化を目標とした新技術を採用し、修繕費の縮減を行います。

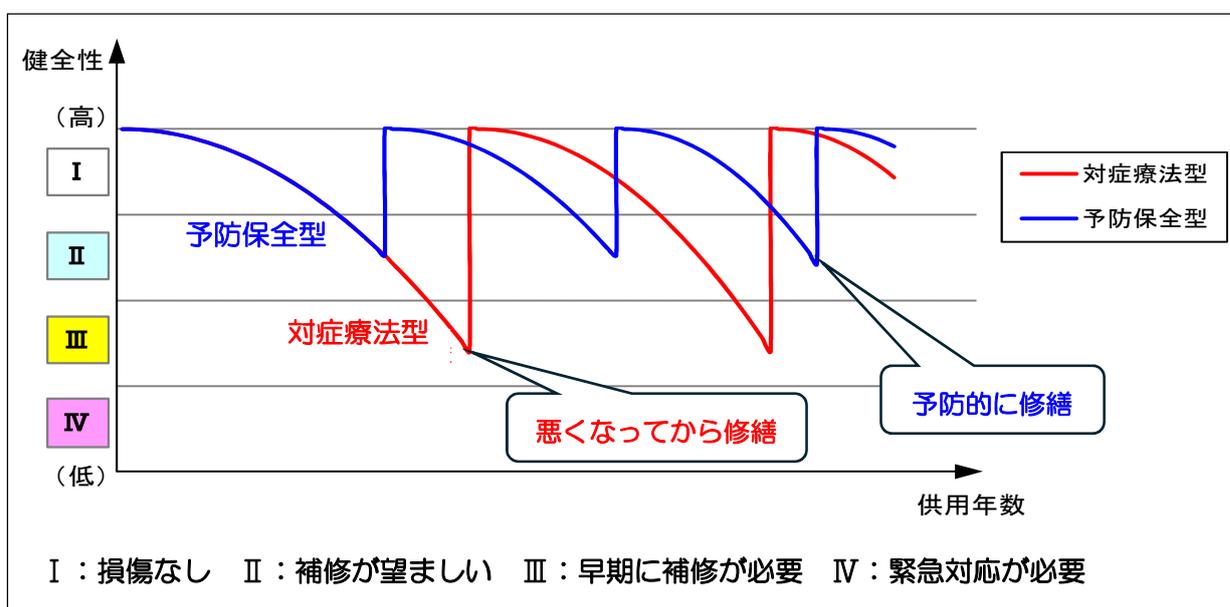


図 1 予防保全型と対症療法型のイメージ

### 3. 長寿命化修繕計画による効果

新工法を採用することで補修材の耐用年数が延長され、工事回数を減らせま  
すので長期的にみると工事費削減につながります。

採用する新技術工法は、ひび割れを塞ぎ、かつ鉄筋の腐食を抑制する効果が  
あります。

本計画を実施することで、大型カルバートの寿命を延ばすことができ、かつ  
今後のコスト削減が見込まれます。

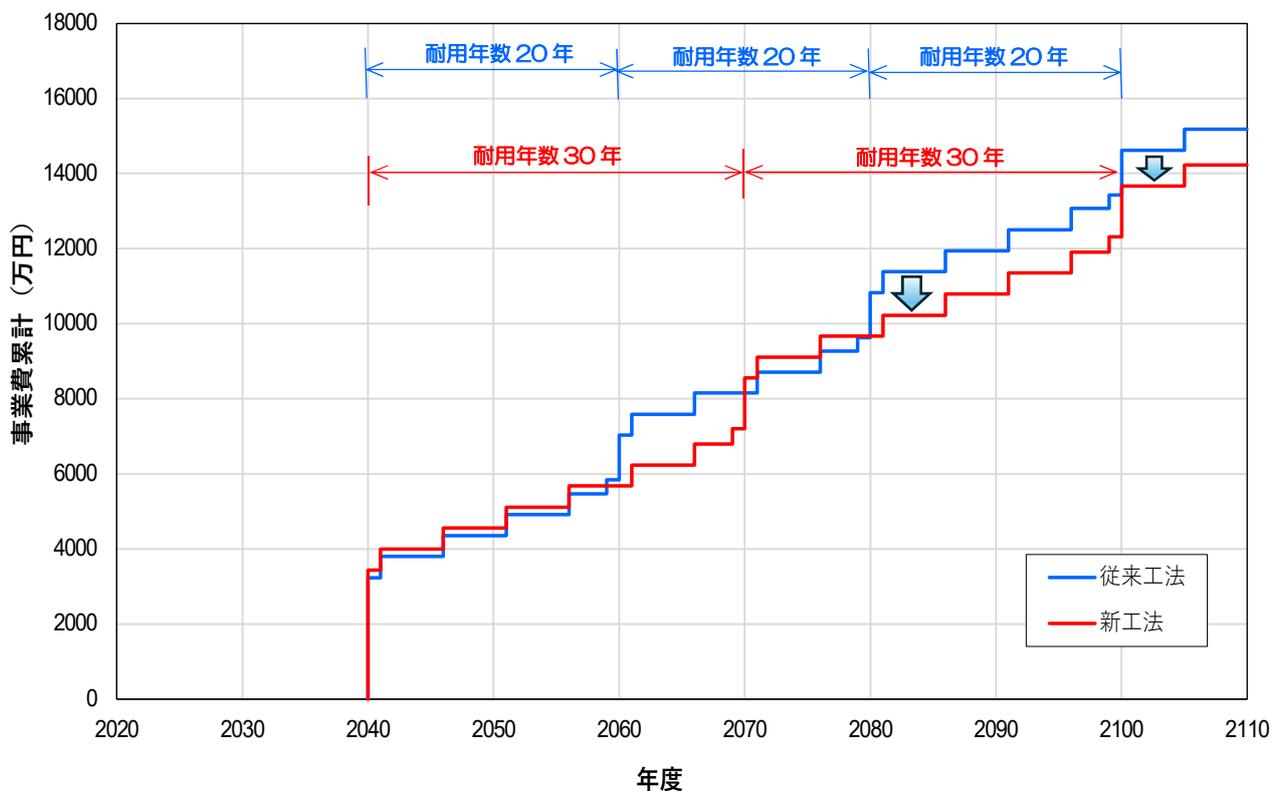


図 2 新技術を活用した予防保全型の事業費予測

## 4. 長寿命化修繕計画に基づく今後の取り組み

野田市では、日常的なパトロール等により損傷の早期発見に努めてきましたが、効率的な維持管理を目指すため『長寿命化修繕計画』を策定しました。

本計画に基づいて大型カルバートの点検、維持、対策を繰り返し行うことにより、大型カルバートの適切な管理を積極的にすすめ、経済的に安心安全な道路ネットワークを維持するように努めていきます。今後も新技術の活用検討を積極的に行い、当該箇所において周囲への安全性を十分に確保し、近接目視と同等の効果が得られる技術が開発されることを見込み、定期点検において令和12年度までに50万円の縮減を目標とします。なお、野田市で管理している大型カルバートは1施設しかなく、設置位置やその必要性から、集約・撤去の検討を進めていくことは困難であるため、日々の維持管理の中でコスト縮減に取り組んでいきます。

## 5. 意見を頂いた学識経験者

清水公園駅前線カルバートの長寿命化修繕計画の策定にあたり、専門知識を有する学識経験者の方からご意見を頂きました。

東京理科大学 社会基盤工学科 加藤佳孝 教授

問い合わせ先：道路建設課

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7番地の1

TEL 04-7125-1111（内線）2516

2024年（令和6年）3月作成